

- 問1 江戸時代初期、九州の島原や天草地方で、領主による過酷な年貢の取り立てや、強まるキリスト教への弾圧に反対して起きた大規模な反乱を何とといいますか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 大塩平八郎の乱 2. 山城の国一揆 3. 島原・天草一揆 4. 加賀の一向一揆
- 問2 江戸時代、岡山藩主が設立した閑谷学校の説明文には、儒学の教えが教育に取り入れられたことが記されています。このように、幕府や藩が、身分秩序の確立を目指して奨励した学問の名称として正しいものはどれですか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 蘭学 2. 朱子学 3. 国学 4. 実学
- 問3 江戸時代には、灌漑（かんがい）施設の整備や海・湖の干拓などを通じて、新たに耕地を切り拓くことが全国的に行われました。これによって農業生産力の向上に大きく貢献した取り組みを何と呼びますか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 太閤検地 2. 墾田永年私財法 3. 新田開発 4. 地租改正
- 問4 江戸時代後期の藩政改革において、薩摩藩や長州藩が「専売制」を導入した主な目的と、その仕組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 商人に自由な商売を認め、市場を活性化させることで、商人からの寄付金を増やすため 2. 特産品を海外へ直接輸出することを奨励し、欧米諸国との自由貿易を促進するため 3. 藩が特産物の流通を独占的に管理することで、その販売利益を藩の財政立て直しに充てるため 4. 農民に特産物の生産を禁止し、米の生産に専念させることで年貢の収入を安定させるため
- 問5 江戸時代の中期から後期にかけての政治と社会の変容について述べた文として、歴史的な背景や因果関係が最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
1. 徳川吉宗は享保の改革で年貢の増徴や新田開発を進めたが、18世紀後半に浅間山の噴火などの自然災害が相次ぎ、天明の飢饉によって幕府の経済基盤は再び揺らぐことになった。 2. 天明の飢饉によって困窮した農民を救済するため、幕府の元役人であった大塩平八郎が大坂で乱を起こしたが、これをきっかけに徳川綱吉による生類憐みの令が発令された。 3. 大塩平八郎の乱によって幕府の権威が強まったことを背景に、徳川吉宗は武士の綱紀粛正と学問の振興を柱とする享保の改革を開始した。 4. 徳川綱吉が武力による統治から学問や礼節を重視する政治へと転換したことで、幕府の財政が安定し、その後の享保の改革では積極的な支出が行われた。
- 問6 江戸時代、都市の貧しい住民が有力な商人に対して行った「打ちこわし」と呼ばれる騒動について、その発生の直接的な背景となった出来事として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
1. 商人が利益を増やすために米を買い占めたり売り惜しんだりしたことで、米の価格が急騰し生活が困窮したこと。 2. 凶作により年貢の負担に耐えられなくなった農民が、村から都市へ押し寄せ、領主の屋敷を破壊したこと。 3. 幕府が特定の商人に独占販売権を与える株仲間を推奨した結果、商品の流通が滞り、物価が下落したこと。 4. 開国後に海外へ大量の米が輸出された結果、国内の米が不足して価格が激しく上昇したこと。
- 問7 18世紀後半の世界の動きをまとめた年表において、1775年から1783年にかけて、北アメリカの13の植民地がイギリスからの独立を目指して戦った出来事を何とといいますか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. アメリカ独立戦争 2. 名誉革命 3. フランス革命 4. ビューリタン革命
- 問8 江戸時代に急速に普及した教育機関である「寺子屋」が、当時の社会において果たした役割や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 寺院において僧侶が貴族の子弟を預かり、高度な仏教の教理や漢詩の作成を指導する私塾であった。 2. 都市や農村の庶民の子供を対象として、読み・書き・そろばんといった実益的な知識を教えた。 3. 国ごとに設置され、律令制度を維持するための地方官吏を養成することを目的とした組織であった。 4. 武士の子弟を対象として、儒学や武芸などの専門的な知識を授けるための公的な教育機関であった。
- 問9 江戸幕府が大名に対して「参勤交代」を義務付けた背景とその目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
1. 大名に江戸の警備を1年交代で担当させることで、外国船の来航に対する防衛体制を整えるため 2. 大名の経済力を削ぐことで、軍事行動を起こす余裕を奪い、幕府に対する反乱を未然に防ぐため 3. 大名の家族を全国各地の城下に分散して住まわせることで、地方文化を江戸に広めるため 4. 大名が自分の領地で独自の貿易を行うことを奨励し、全国の経済を活性化させるため
- 問10 江戸時代の大阪において、諸大名が自領の年貢米や特産物を運び込み、保管や販売を行うために設置した拠点を何とといいますか。当時の風景を描いた資料には、これらが川沿いに軒を連ね、荷物を積み下ろしする船で賑わう様子が記録されています。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 問屋 2. 藩校 3. 蔵屋敷 4. 両替商
- 問11 九州地方の西部に位置し、現在は県庁所在地となっている都市である。江戸時代には、この都市に作られた人工の島にオランダ商館が置かれ、西洋との貿易の窓口となった。この都市名は何か。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 熊本市 2. 福岡市 3. 平戸市 4. 長崎市
- 問12 江戸時代の文化において、浮世絵がそれ以前の絵画と異なり、多くの一般庶民にまで広く普及した背景として、制作上の特徴から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 寺院の壁画として描かれ、参拝に訪れた多くの人々が目にしたため 2. 幕府が町人に対して、教育の一環として鑑賞を義務付けたため 3. 木版による印刷技術を用いて、同じ作品を大量に生産できたため 4. 墨一色で描く技法により、短時間で大量に仕上げることができたため
- 問13 フランス革命以前のフランス社会において、国家財政を支えるための「税の負担」はどのようになっていましたか。当時の身分制度と関連させて説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 聖職者や貴族は免税などの特権を持っていたため、平民だけが重い税を負担していた 2. 聖職者がすべての税を負担する代わりに、政治の全権を握っていた 3. 国王が最も重い税を負担し、その資金をもとに平民の生活を保障していた 4. 身分に関係なく、すべての国民が所得に応じた一定の税を平等に負担していた

答え合わせ・解説

問1	答え 3 島原・天草一揆	1637年に発生したこの一揆は、キリスト教を信仰する農民らが団結して幕府軍に抵抗した事件です。これに衝撃を受けた江戸幕府は、ポルトガル人の来航禁止や鎖国の完成、絵踏の徹底など、禁教政策を一層強化する契機となりました。
問2	答え 2 朱子学	江戸時代において、幕府や各藩は社会の秩序を保つための道徳として朱子学を重視しました。岡山藩の開谷学校のように、地方においても儒教（朱子学）の教えに基づいた教育機関が作られ、武士や地域社会のリーダー層にその思想が広められました。選択肢にある国学は日本の古典研究、蘭学は西洋の学問を指します。
問3	答え 3 新田開発	江戸時代初期から中期にかけて、食糧生産を増やし年貢収入を安定させるため、幕府や藩、あるいは有力な町人などが主体となって大規模な土地の開墾が進められました。これにより、それまで荒地や水面だった場所が良質な農地に生まれ変わりました。
問4	答え 3 藩が特産物の流通を独占的に管理することで、その販売利益を藩の財政立て直しに充てるため	専売制は、藩の財政を再建するための重要な経済政策でした。藩が領内の特産物を一手に引き受けて販売することで、中間搾取を防ぎ、商人が得ていた利益を藩の収入へと組み入れました。この政策によって蓄えられた資金が、最新の武器の購入など、幕末の政局を動かす原動力となりました。自由貿易を促進する考え方は、開国後の明治時代に近い発想であり、当時の藩政改革の主な方向性とは異なります。
問5	答え 1 徳川吉宗は享保の改革で年貢の増徴や新田開発を進めたが、18世紀後半に浅間山の噴火などの自然災害が相次ぎ、天明の飢饉によって幕府の経済基盤は再び揺らぐことになった。	徳川吉宗による享保の改革（1716年～）は一定の成果を収めましたが、その後、1780年代に発生した天明の飢饉は、浅間山の噴火などの気候変動も重なり、全国に深刻な被害をもたらして幕府支配を揺るがしました。徳川綱吉の統治は吉宗より前であり、大塩平八郎の乱は飢饉への不満を背景に1837年に発生したもので、これらは時系列や因果関係が異なります。特に大塩の乱は「幕府の元役人」が起こしたという点で、幕府支配の限界を象徴する出来事となりました。
問6	答え 1 商人が利益を増やすために米を買い占めたり売り惜しんだりしたことで、米の価格が急騰し生活が困窮したこと。	打ちこわしは、飢饉などによる食料不足の際、さらなる値上がりを期待して米を蓄えて売らない「売り惜しみ」や、市場の米を強引に買い占める商人たちの行為に憤った都市住民が、その商家の家財などを破壊した暴動を指します。これに対し、農民が領主や村役人に対して減税や不正を訴えて起こす行動は「百姓一揆」と呼ばれ、区別されます。
問7	答え 1 アメリカ独立戦争	イギリスの本国政府が植民地に対して重い税を課したことに反発し、ワシントンを総司令官として戦った戦争です。この戦争の最中の1776年には独立宣言が出され、近代民主主義の先駆けとなりました。
問8	答え 2 都市や農村の庶民の子供を対象として、読み・書き・そろばんといった実益的な知識を教えた。	江戸時代、商業の発達や農業技術の向上に伴い、文字の読み書きや計算能力が日常生活や仕事に不可欠となりました。そのため、町人や農民といった庶民によって「寺子屋」が全国に開かれ、実用的な教育が普及しました。この教育の広がりが、当時の日本の極めて高い識字率を支える要因となりました。なお、武士を対象とした教育は、各藩が設置した「藩校（弘道館など）」が担っていました。
問9	答え 2 大名の経済力を削ぐことで、軍事行動を起こす余裕を奪い、幕府に対する反乱を未然に防ぐため	参勤交代は、大名に多額の出費を強いることで経済的な余裕をなくさせると同時に、家族を江戸に住まわせることで人質としての役割も持たせていました。これにより、地方の大名が幕府に対して武装蜂起するリスクを最小限に抑え、長期にわたる安定した政権運営を可能にしました。
問10	答え 3 蔵屋敷	諸大名は、領地で徴収した年貢米や特産物（蔵物）を現金に換えるため、経済の拠点である大阪に「蔵屋敷」と呼ばれる倉庫兼事務所を設置しました。ここへ集められた物資は、仲買人などを通じて全国へ流通していきました。この仕組みによって大阪に物資が集中したことが、大阪が「天下の台所」と呼ばれる背景となりました。
問11	答え 4 長崎市	江戸時代、幕府はキリスト教の禁止と貿易の統制を強化するため、もともと平戸にあったオランダ商館を長崎の出島に移した。これにより、長崎は鎖国政策下において西洋との貿易を行う唯一の窓口として発展した。平戸市は初期に商館があった場所、福岡市は九州地方最大の都市であるが、出島が置かれた場所ではない。
問12	答え 3 木版による印刷技術を用いて、同じ作品を大量に生産できたため	浮世絵は絵師、彫師、刷師の分業体制で作られる木版画です。手書きの一点もの（肉筆画）とは異なり、版木を用いて同じ絵を安価に大量に印刷できたため、現代のポスターやプロマイドのような感覚で、江戸の町人たちが手軽に購入できる身近な芸術となりました。
問13	答え 1 聖職者や貴族は免税などの特権を持っていたため、平民だけが重い税を負担していた	当時のフランスでは、人口のわずかに数パーセントに過ぎない聖職者と貴族が特権階級として君臨し、多大な富を所有しながらも納税の義務を免れていました。これに対し、商工業者や農民などの平民は、政治に参加する権利がほとんど認められないまま、国家の財政難を補うための過酷な税を課せられていました。この経済的な不満が爆発したことが、フランス革命の直接的な要因の一つとなりました。